



館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 5 月 10 日(土)

発行 館長 加藤 智 一

「2025 青少年のための科学の祭典 in 山形」開催のお知らせと前年度の総括

先日 5 月 8 日(木)に山形県庁にて「令和 7 年度やまがた科学・産業体験実行委員会」が開かれまして、昨年開催された「青少年のための科学の祭典 in 山形」の総括と、今年度の開催について報告がありました。

それによりますと、昨年 7 月 27 日(土)霞城セントラル(1 階アトリウム、産業科学館 2、4 階)、やまぎん県民ホール(1~3 階)において開催され、あいにくの大雨の影響で山形地方気象台をはじめ 4 団体が直前になって出展を取りやめたものの、過去最大となる延べ人数 9,683 名が訪れました。開催当日は、スリーエム仙台市科学館の先生方によるサイエンスショー(低温の科学)をはじめ高校生、県内企業、NPO、県内各種研究機関、短期大学校他 24 団体が体験ブースを出展し、多くの親子連れで賑わいました。

また今年度の開催予定については、開催日、開催場所が昨年と若干異なりますのでご注意ください。

- ① 開催日時 令和 7 年 9 月 13 日(土) 午前 10 時~午後 4 時
- ② 開催場所 霞城セントラル(1 階アトリウム、産業科学館、山形市保健所大会議室、視聴覚室)、やまぎん県民ホール 1 階ロビー
- ③ サイエンスショー
HOKUSHU 仙台市科学館職員(予定)
- ④ スケジュール
5 月上旬 出展募集、後援依頼
6 月中旬 出展団体配置確定
7 月中旬 小中学校、公共施設等に広報物配布
- ⑤ その他 「子どもゆめ基金」については、本年度不採用 R6 繰越金に似て充当
今年も多くの方々に科学の不思議を体験いただきたいものです。

正倉院の「象牙」実はクジラの骨でした!

2025. 5. 10 山形新聞

奈良市の正倉院に「象牙」として伝わる宝物あり。ところが、この度の調査で、全長 18m 程度のヒゲクジラの肋骨であったことがわかりました。決めてとなったのは、象牙に特徴的な細管が織りなす模様「シュレーゲル線」がなく、象牙よりもざらついており、内部が海面状組織であることから、水中に生息していた動物の骨と判断されました。

外国人材の増加率 山形県全国トップ

2025. 5. 10 山形新聞

1 位	山形	54.3 倍	26 人→1,412 人
2 位	秋田	50.5 倍	10 人→ 505 人
3 位	佐賀	32 倍	64 人→2,051 人
4 位	奈良	30 倍	62 人→1,861 人
5 位	山口	29.8 倍	82 人→2,448 人

外国人労働者の増加率は、山形県が過去 5 年間で 54 倍超にも上り、全国で最も高かったそうです。この結果は、1 月までに国が発表した外国人雇用状況の調査をもとに、外国人材の受け入れ支援サービスを手掛ける「カミナシ」が分析し、4 月に発表しました。

一定の知識や経験を備えた「特定技能 1 号」の在留資格を持つ外国人材の直近 5 年間の増え方を都道府県別でみると、山形が全国トップということになります。「カミナシ」によると、働きながら技能を習得する「技能実習生」より「特定技能 1 号」人材の増加率が顕著なのは、人手不足が叫ばれている中で、即戦力が求められる状況の表れではないかとのことです。

蜜 標



蜜標とは、いくつかの被子植物の花に見られる、昆虫などのポリネーターを蜜などの報酬へと導く模様のことです。例えば「この奥に行くと甘い蜜があるよ〜」と知らせるネクターサインです。この目印に誘われた虫は、蜜を貰う引き換えに花粉を付けられて、別の花へと移動することで、受粉を助けているのです。報酬は一般的に蜜だけではありません。油、樹脂、香り、ワックスなどが利用されています。

例えば *Linaria genistifolia* というオオバコ科の植物は、黄色い花にオレンジ色の蜜標がありますが、ヒマワリなど一部の植物では、紫外線の下で見たとときのみ蜜標が見えるようになっていて、しかも紫外線下では、花は蜜腺がある中心部が濃くなるという仕掛けまで備えられています。花卉にも特定の模様があることが多く、これはミツバチなどのポリネーターや紫外線を見ることができ昆虫にとって、花をより魅力的にするためだと考えられています。